

## 人口ビジョン（中長期展望）

＜将来都市像＞  
このままの状態が続くと  
2030年83,074人をピークに  
2040年に81,100人まで減少

合計特殊出生率を  
2030年までに1.8へ、  
2040年までに2.1へと  
上昇させ、  
**2040年に84,800人、  
2060年に81,200人の  
人口規模の維持を目指す**

※1.8は、国民希望出生率  
2.1は、人口置換基準

## ＜目指すべき都市のすがた＞

（仮）  
こども達の未来が輝くまち  
～「子育て支援」から  
「子育て支援」へ～

＜姿勢1＞  
移住・定住に関する  
希望の実現

＜姿勢2＞  
若い世代の結婚・子育て等  
に関する希望の実現

＜姿勢3＞  
多様な価値観による  
地域コミュニティの形成

## 総合戦略（2015（H27）～2019（H31）年度の5か年）

＜基本目標＞  
（2019年の成果指標）

学研都市としての特性を活かした産業の  
活性化、都市近郊農業の振興・活性化、  
企業誘致・立地による雇用と就業の創出

- 就業者数  
31,137人（H22）→32,277人（H31）
- 事業所立地件数  
22事業所（H26）→28事業所（H31）
- 首都圏での市内産農産物流通量  
0トン（H26）→21トン（H31）

交流人口の増加、地域住民による  
「地域活性化・観光」の展開

- 観光入込客数  
921,388人（H25）→  
1,000,000人（H31）

「子育て支援No.1」を目指した  
施策の充実

- 合計特殊出生率  
1.57人（H26）→1.8人（H42）
- 有配偶者率  
（男）69.2%（女）63.1%（H22）  
→（男）71%（女）65%（H31）

小さな拠点を活用した個性と魅力  
あふれる地域コミュニティの充実

- 市外からの滞在人口数  
50,186人/日（H26）→52,000人/日（H31）
- まちへの愛着度  
68.6%（H25）→73%（H31）

地元大学との連携による  
まちの活性化

- 大学との講座・体験学習の連携実績  
0件/年（H26）→4件/年（H31）
- ブランド農産品開発数  
0品（H26）→2品（H31）

まちづくりに取り組む、  
取組もうとする人材を支援・創出

- マチオモイな仲間たち（次代のリーダー）  
の支援・創出実績  
0人（H26）→60人（H31）
- 定住意向率  
66.2%（H27）→80%（H31）

＜特に子育てに関する施策目標・成果指標＞  
「子育て未来-K P I」※木津川市独自指標

企業などが取り組む子育て環境の整備に対する支援（子育て  
サポート企業（厚生労働省）の認定への応援など）や、学校  
給食における安心安全な地域農産物の提供に重点的に取り組  
みます。

学校給食における一日一品市内産野菜の利用率  
%（H25）→%（H31）

子どもたちがまちへの愛着を深めることができる市の歴史文  
化遺産を活用した学習プログラム、子育て情報を発信するた  
めの子育てサイト・アプリの充実、里山を活用した婚活事業  
や多世代間交流の促進などに重点的に取り組みます。

里山などを活用した多世代交流や婚活イベント支援数  
0件（H26）→5件（H31）※延べ数

すべての子育て世代が安心して子どもを産み育てることが  
できるとともに、子ども自身が幸せを感じながら未来に向か  
つてはばたくことができるよう、「子育て支援No.1」の充実に  
取り組みます。

「保育、子育てを支援するサービス」に対する満足度  
23.5%（H25）→33.8%（H31）

地域で暮らす人々が、地域活動を楽しみながら集い、交流で  
きる小さな拠点づくりや、子育て世代が子どもたちとともに  
安心・安全に地域と繋がっていけるよう、コミュニティバス  
や道路の整備に重点的に取り組みます。

「通勤・通学の交通の便利さ」に対する満足度  
34.7%（H25）→39.7%（H31）

子どもたちにとって興味のある・面白い講座や体験学習会  
のプログラムを設定し、地域の特色・文化を学ぶとともに、大  
人になってもう一度木津川市に住みたいと思ってもらえるよ  
う、まちへの愛着・U/Iターン意向の醸成に重点的に取り組  
む。

講座・体験学習など実施学級数  
0クラス（H26）→40クラス（H31）

まちを担う若い世代が楽しみながら参加でき、また小さな子  
どもと一緒に楽しめるようなまちづくりに重点的に取り組  
みます。

中学生アンケートにおける住みよさ満足度  
83.6%（H25）→88.0%（H31）

＜主な重要業績評価指標＞  
（KPI）

●事業所立地件数（学研エリア）  
28企業（H31）

●地産・地消推進の店認定制度  
70店舗（H31）

●農林産物直売所件数  
8箇所（H31）

●プロモーション映像閲覧者数  
4,000人（H31）

●バスツアー利用者数  
150人（H31）

●スマートフォン用サイト述べ利用者数  
7,800人（H31）

●ファミリーサポートセンター年間平均利用日数  
125人/日（H31）

●待機児童数  
0人（H31）

●食育に関する講習会等述べ参加者数  
200人（H31）

●コミバス年間利用者数  
300,000人（H31）

●加茂支所における交流者数  
140,000人（H31）

●環の拠点への来場者数  
10,000人（H31）

●市民農業大学講座受講生  
100人（H31）

●体験学習会述べ参加者数  
300人（H31）

●木津川アート来場者数  
9,000人（H31）

●ICT（愛シティ）ライフ戦略  
参加登録者数  
10,000人（H31）